
1. 学生のみなさんへ

本校では、職業人としての専門性と汎用性の両面を、各学科における教育活動と、総合専門学校の強みを最大限に生かした学科・分野を超えた連携による教育活動、さらにそれらを取巻く学生生活全般を、地域・産業界と深いレベルで連携し養うことを基本方針とし、高い専門知識・技術（専門性）に加えて、社会人としての基礎的・汎用的能力（ジェネリックスキル）を養うことを目指しています。

各学科での教育活動は、企業が求める人材像に応じた「人財育成シナリオ」を産業界と共に創り、それら先進的かつ実践的なシナリオを基軸に、最適な教育環境（実習施設・設備機器、教材、教員）により教育し、さらに、学内における講義や実習に留まらず、地域・産業界等と連携したプロジェクト・ベースド・ラーニング（PBL）や、学外での各種展示会の見学や出展、専門分野を生かした大会・コンテストへの参加など、多種多様な特別活動も含まれます。

また、専門知識・技術の修得と並行して、課題解決能力やコミュニケーション能力を養うグループワーク、プレゼンテーション能力を養う作品発表・展示、文章作成能力を養うレポート課題など基礎的・汎用的能力の育成に向けた、PBL、アクティブ・ラーニング（能動的学習）型授業にも力を入れていきます。

さらに、全学的な取組みとして、学生自身のキャリアプランニングや就職活動を円滑に行うため、学科横断の学生交流を通し職業人になるための準備をするプログラム「みらい考房」、学生自身の職業人としての付加価値を高めることを目的に、学生個々の指向に合わせて選択できる、選択・自発的参加プログラム「みらいバリューアッププログラム」の展開など、さまざまな学習の機会を提供していきます。

また、学生生活を通して、様々な学校行事の実行委員会や学校運営を支援する学生スタッフ、各種ボランティア活動など、学生の希望に応じて自由に参加できる活動の機会を多数設け、学科を越えた学生間の交流のもとで、社会人としての基礎的・汎用的能力の涵養に寄与することを目指していきます。

今、世の中が大きく変わろうとしていることは、皆さんも実感していると思います。もちろん、社会が皆さんに求めるスキルも変化しています。その新しいスキルを育てるための新しい学びを実現するのが、4つのカレッジからなる浜松未来総合専門学校です。

新しい仕事や価値観が生まれていく未知の時代を生きていくために、学びも変わらなければなりません。個人の技術や知識を高めながら、様々な人とかかわり合うことで、より大きなチカラを身につけていく。これまでにない新しい学びのカたちは、やがて皆さんの未来を創造するチカラに変わっていきます。このスケールの大きな環境で学び、切磋琢磨しながら一緒に成長していきましょう。

令和6年4月
校長 松本 文晴